

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

全ての児童に対して、

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。
 - ・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできる。(自校テストで80%以上にする。)
 - ・基礎的な四則計算ができる。(自校テストで80%以上にする。)
- 思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・国語・算数の単元テストで、平均80%を目指す。
- 主体的に学習に取り組む態度を涵養する。
 - ・さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より0.5pt向上させた値にする。

具体的な手立て

- ① 朝のスキルアップタイムにおいて「ドリルパーク」を活用し、基礎力向上を図る。
- ② 授業のユニバーサルデザイン化を図る。
- ③ 児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。
- ④ 管理職による授業参観・指導を年2回以上行う。
- ⑤ 大宮南小スタンダード(本校における学習・生活習慣の向上を目指す取組の総称)の定着に向けた指導を行う。

結果

- ・国語の漢字、算数の四則計算のテストではどの学年も80%を超えていた。
- ・国語、算数のテストの思考・判断・表現では平均して80%以上であった。
- ・さいたま市の学習状況調査の「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合は国語は4.5Pの減少、算数は1.5Pの増加であった。

今年度の振り返り・次年度に向けて

国語・算数の基礎・基本の部分は概ね定着している。思考力・判断力・表現力も「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行うことで、協働学習を通して伸びてきている。

次年度に向けて、特に国語科における主体的に学習に取り組む態度を育てていきたい。より児童の意欲を高めるための導入の工夫や児童と学習計画をつくることで、児童とともに授業をつくっていきけるよう授業改善を図る。